



令和5年(2023)12月27日 No.9

教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
0743-74-1111(代)
文責 原井葉子

「ビブリオバトル市内中学生大会」を開催！

12月22日、「第8回市長杯ビブリオバトル市内中学生大会」を開催。各校から選出されたバトラー25人が予選、本選で熱い戦いを繰り広げ、チャンプ本は、緑ヶ丘中学校2年生山地奏花さんの「ツナグ」に決定しました。

今回の発表者は日頃から読書に親しんでいる人が多く、本との出会いで自分の考えや生き方がどのように変わったか、自分が主人公ならどう行動するか、著者の他の作品との比較など、参加者との質疑応答にも熱が入りました。

また、ポスターコンクールでは、鹿ノ台中学校3年生藤井いちかさんの作品が最優秀賞に選ばれました。

先日、学校図書館で子どもの読書活動を支える「学校司書」の配置について、専任の学校司書が配置されている公立小中学校が共に47%にとどまるという新聞社の調査結果が報道されました。

生駒市では、全ての市立小中学校に専任の学校司書を配置し、今回のビブリオバトル大会も、学校司書が中心に運営しています。

子どもたちが読書好きになって本を手にする機会がさらに増えるよう、これからも学校と市図書館が連携しながら様々な取組を進めていきたいと考えています。



【今月のnoteから】

☆ 大人の悩みに中学生がアドバイス！

12月6日に、光明中学校で「リバースメンタル」という手法を使ったキャリア教育を実施しました。多くの場合大人が中学生の相談や質問にアドバイスを行うのをリバース(逆転)させて、中学生が大人の相談にアドバイスします。会社代表やワーキングマザー、大学生など様々な職種・立場の方に相談者として協力いただき、先日生駒市と協定を結んだサッカーチームバンディート生駒の仲宗根代表からは、「生駒で愛されるチーム、応援される選手になるには何が必要か？」の相談に、子どもたちは熱心に応えていました。



他者の相談に応える時のポジティブな発想や発言は自分自身の考え方や生き方につながります。受験を控える中学3年生の皆さんにとって、この経験が、自分の人生を切り拓いていく力になることを願っています。

取組の詳細を紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://ikomacity-edu.note.jp/n/n45ale7232elc>

大谷翔平選手からグローブ

届いたグローブを28日17時15分まで市役所2階で展示しています。年明けに、各小学校にお届けしますので、小学生の皆さんは楽しみにしてくださいね！



市議会、定例教育委員会で決定した事柄をお知らせします。詳細は後日、HP、X、メール等でお伝えします。

① 学校給食費の無償化について

物価高騰に対する子育て世帯支援のために交付金を活用し、市立小・中学校における令和6年1月～3月の給食費を無償化します。

② 壱分幼稚園の認定こども園整備について

12月25日の第12回定例教育委員会において、「壱分幼稚園の認定こども園整備に関する基本計画」が決定しました。今後は、公私連携幼保連携型認定こども園の移行に向けて、保護者や地域の皆様方に丁寧に説明を行いながら、整備を進めてまいります。

「不登校支援機関交流会」を開催

12月20日に、学校、いきいき・のびのびほっとルーム、教育相談室、フレキシスクールと、「チロル堂」、「フリースクール光歩」「ひらく学校」など市内で不登校や子どもの居場所づくりに関わっていただいている機関の代表者が集まって交流会を実施しました。

それぞれの立場で現在取り組んでいる内容や課題、思いなどを出し合い共有する中で、学校に行くこと(行かせること)が目標ではなく子どもや保護者にとって安心して過ごせる居場所や人とのつながりができることが大切であること、中学校卒業後の進路やその先の状況などの情報を知ることによって将来への不安が少なくなり選択肢が増えることなど様々な意見が出て、不登校支援について関係者同士が交流する貴重な機会となりました。